



## 第9回アジア・スマートシティ会議 プログラム概要 (2021/01/15 時点)

2021年1月18日（月曜日）  
横浜市



## 開催日時

2021年1月18日(月) 10時～18時

## 主催等

- 主催：横浜市
- 共同運営：アジア開発銀行研究所(ADB)、世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)
- 後援：内閣府、外務省、財務省、国土交通省、環境省、地球環境戦略研究機関(IGES)、国際協力機構(JICA)、横浜市立大学、シティネット、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート

## 全体テーマ

カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ～コロナ時代の展望～

## 背景／ビジョン

私たちは「スマートシティ開発」を、持続可能な都市づくりと考えています。私たちの目指すスマートシティ開発とは、バランスの取れた持続可能な開発を推進し、公民連携によって生み出された様々な革新的技術を活用することにより、市民の生活の質を向上させるまちづくりです。

アジア・スマートシティ会議(Asia Smart City Conference)(以下、「ASCC」という。)は、アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等の代表者が一堂に集まり、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う国際会議です。この会議では、各都市の代表者から提示される都市課題や成長へのビジョン、民間企業や学術機関による革新的ソリューションの提案、及び公民連携を資金面で支援する国際機関の施策など、世界の様々な知見(ベストプラクティス)が共有され、参加者が新しいビジネスチャンスを発見できる場も提供しています。

第9回目となる今回は、「カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ～コロナ時代の展望～」をメインテーマに掲げています。アジアにおけるスマートシティ開発の情報のハブとしての役割を高めるとともに、オンラインを活用したビジネスマッチングを実施するなど、広くキープレイヤーの出会いの場を提供し、経済・社会・環境的に持続可能な都市づくりに向けて、ビジネス機会の一層の創出を目指します。

また、横浜市は、いち早く2050年までの脱炭素化を宣言し、多様なステークホルダーと連携し、様々な取組を展開しています。ASCCにおいても、カーボンニュートラルやSDGsなどの国際社会共通の目標の達成への貢献を目指します。

<参考・連続開催イベント：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan)特別フォーラム>

「日本型デジタル社会実現に向けたオール・ジャパンサミット」

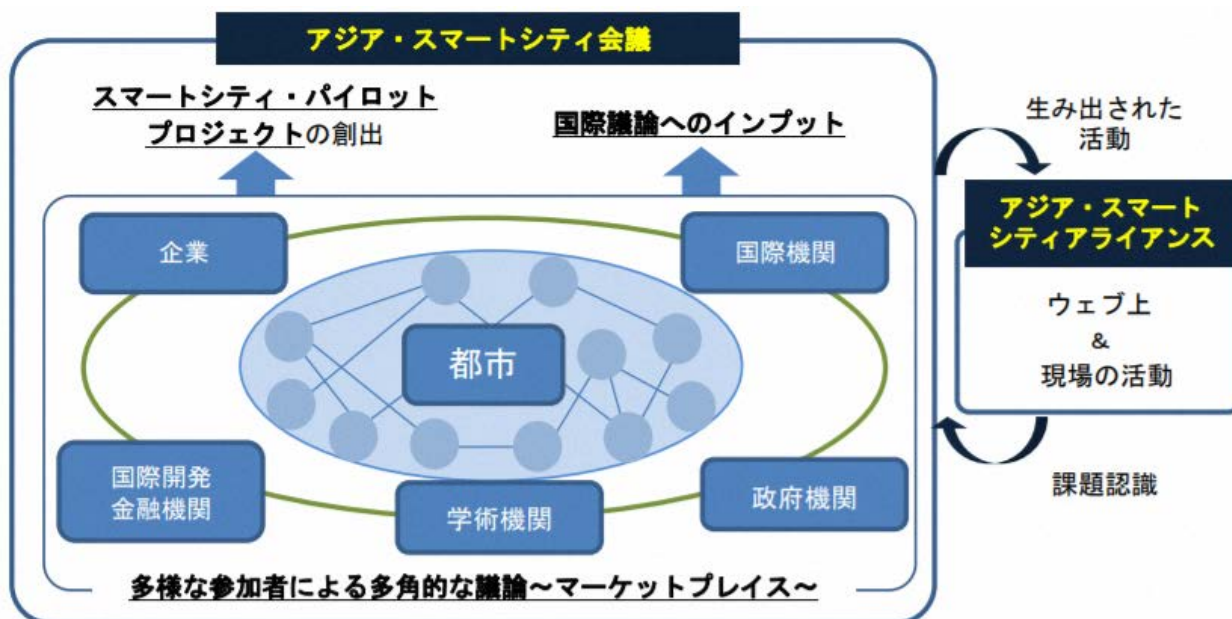
2021年1月19日(火) 10:00～18:10

## 会議の特徴

第9回 ASCC の目的と期待されるインパクトは以下のとおりです。

- 1) 海外の持続可能な都市開発に関する情報・人が集まるマーケットプレイスの構築、ビジネス機会の創出  
～翻訳的適用とイノベーション・ソリューションの共創
- 2) カーボンニュートラル・SDGs など国際社会の目標達成に向けた発信
- 3) 都市課題解決に向けたナレッジハブとしての進化・高機能化

## ASCC の主な取り組み



A会場

10:00 - 10:05	イントロダクション
---------------	-----------

【登壇者】

横浜市国際局長 赤岡謙

A会場

10:05 - 10:50	横浜ユースイベント ポストコロナ時代のアジアの未来を創る人材とは -バウンダリースパナーの役割-
---------------	---

世界中で COVID-19 の感染が拡大しているなか、組織境界を越えた連携によるイノベーションの重要性が増しています。このセッションでは、組織境界を越えて複数組織をつなげイノベーションを生む「バウンダリースパナー」の役割に注目します。横浜市立大学の学生が芦澤美智子准教授（国際商学部）指導のもと事前調査を行い、自分たちの考えを提示し、国際機関職員とディスカッションをして提言をまとめることを目的とします。本セッションに先立ち学生たちは、複数のバウンダリースパナーの調査を行い、バウンダリースパナーが備える能力についての理解を深めました。その上で、本セッションでは、ユース世代（Z世代）がどのようにしてそれらの能力を獲得していくかについて、学生と国際機関職員とが議論を進めていきます。

【登壇者】

<オープニング・リマーク>

横浜市立大学 副学長 中條祐介氏

株式会社日新 人事部次長 本田純氏

<モデレーター>

シティネット横浜プロジェクトオフィス 事業課長 平田ケンドラ氏

<発表者>（指導教員：国際商学部 芦澤美智子准教授）

横浜市立大学国際総合科学部 4年生 チェ・ミンヒョク氏

横浜市立大学国際総合科学部 4年生 角あゆみ氏

横浜市立大学国際総合科学部 4年生 下郷るん氏

<ゲスト専門家>

アジア開発銀行 Director, Urban Development and Water Division (SAUW),  
South Asia Department 斎藤法雄氏

## A 会場

10:55 – 11:40	テーマ別セッション 1 : カーボンニュートラルリティ～都市に求められるエネルギー管理～
---------------	---

再生可能エネルギー分野における技術的進歩により、分散型のエネルギー供給システムが導入されるようになりました。地域で発電された再生可能エネルギー等を利用することで、島などの遠隔地に住む人々が従来に比べてエネルギーへのアクセスを高めることができます。都市部では、再生可能エネルギーの生産者と消費者の間でピアツーピア（P2P）の電力取引が、CO2 排出量の削減や ESG 投資の観点からも再生可能エネルギーの活用を加速させています。本セッションでは、マイクログリッドシステムを構築することで、自立型電力供給の仕組みを構築するための課題について議論します。

### 【登壇者】

＜モデレーター＞

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan) 理事 南雲岳彦氏

＜海外プレゼンター＞

ベトナム・ダナン市 Director, Department of Industry and Trade, Le Thi Kim Phuong 氏

＜プレゼンター＞

独立行政法人国際協力機構国際協力専門員（資源・エネルギー）小川忠之氏

＜コメンテーター＞

バンコク都環境局 JICA 専門家（横浜市から派遣）黒水公博氏

一般社団法人海外環境協力センター（OECC） 理事兼業務部長 加藤真氏

＜リアクター＞

Y-PORT センター専門家 杉本聡氏

11:40 – 12:40	休憩
---------------	----

## A 会場

12:40 – 13:00	主催者挨拶・キーノートスピーチ
---------------	-----------------

### 【登壇者】

環境大臣 小泉進次郎氏

横浜副市長 林琢己

アジア開発銀行 Chief Sector Officer, Sustainable Development and Climate Change,  
Robert Guild 氏

世界銀行 Global Director, Urban, Disaster Risk Management, Resilience and Land Global  
Practice, Sameh Wahba 氏

## A 会場

<b>13:05 – 13:50</b>	<b>ADB・ADB I セッション</b> <b>アフターコロナの住みよい都市の再建</b>
----------------------	--

都市にとって、COVID-19 のパンデミックは、貧弱な物理的インフラ、都市の中核的サービスへの不平等なアクセス、過密都市の課題を露呈しました。アジア開発銀行は、この危機からの回復とより良い復興に向けて、セクター横断的に都市を誘導するためのガイダンスノート「住みよい都市：ポスト COVID-19 ニューノーマル」を作成しました。ガイダンスノートでは、6 つの「ニューノーマル」に適応するための都市の短期的・中期的な行動を特定しています。COVID-19 後のより住みやすい都市づくりに、この新しい規範の枠組みをどのように取り入れることができるか。また、実際に実施されている良い事例にはどのようなものがあるか。スマートテクノロジーは、これらの課題を達成するためにどのように役立つのか。本セッションでは、課題を明らかにすることを目的としています。

### 【登壇者】

<モデレーター>

アジア開発銀行 Senior Urban Specialist (Smart Cities) Hong Soo Lee 氏

<海外プレゼンター>

アジア開発銀行 Senior Urban Development Specialist Stefan Rau 氏

フィリピン・セブ市 Councilor David F. Tumulak 氏

日本電気株式会社 クロスインダストリー事業開発本部 シニア・マネージャー 菊池晃治氏

アジア開発銀行 Senior Urban Development Specialist at Central West Region Ramola Naik Singru 氏

## B 会場

<b>13:05 – 13:50</b>	<b>テーマ別セッション 2：廃棄物管理</b> <b>COVID-19 における固形廃棄物の変化とその適切な処分方法の検討</b>
----------------------	---

新興国都市では急速な人口増加に伴い、廃棄物の収集・処理・処分は地方自治体にとっての多大な行政コストになっています。また、COVID-19 の下では PPE (Personal Protection Equipment : 個人用保護具) などの廃棄物量が急増している一方で、これら廃棄物の安全且つ効率的な収集や適切な処理ルートが確立されていないため、海外都市にとっての新たな課題になっています。本セッションでは、COVID-19 の下で起きている課題と対策について議論します。

### 【登壇者】

<モデレーター>

IGES-UNEP 環境技術連携センター, Deputy Director,  
Premakumara Jagath Dickella Gamaralalage 氏

<海外プレゼンター>

フィリピン・マンダウエ市 Head of Mandaue City Environment Natural Resource Office,  
Ar. Araceli G. Barlam 氏

フィリピン・マンダウエ市 Head of City Planning and Development Office, Ar. Marlo D. Ocleasa 氏

<コメンテーター>

株式会社エクス都市研究所 取締役会長 大野眞里氏

<リアクター>

Y-PORT センター専門家 岡本晋介氏

## A 会場

13:55 – 14:40	世界銀行セッション
---------------	-----------

現在、世界の人口の半分以上が都市に住んでおり、2050 年までに 80%に達すると予測されていることから、都市は気候変動の主な原因となっていることを認識する必要があります。本セッションでは、持続可能な都市の実現に向けた費用対効果の高いスマートソリューションの展開について、新興国の取組を探ります。そして、世界銀行のグローバル・スマートシティ・パートナーシップ・プログラム（GSCP）の支援を受けたアジアにおける 2 つの事例を紹介します。このプログラムは、世界各国のスマートシティの知見を提供し、グローバルなスマートシティの専門家を動員することで、世界銀行のプロジェクトチーム等がスマートシティプロジェクトの計画・実施能力を高めることを支援するために 2018 年に開始されました。インドネシアとバングラデシュからの 2 つのケースから、新興国にスマートシティソリューションを導入する方法に関する理解を促進します。また、日本のベストプラクティスを新興国に応用した事例や CO2 の排出量削減に資する技術の利用事例を紹介し、持続可能な都市開発に向けた検討事項や今後の課題を共有します。

### 【登壇者】

<モデレーター>

世界銀行東京開発ラーニングセンター Senior Urban Specialist and TDLC Team Lead, Victor Mulas 氏

<パネリスト>

世界銀行 Urban Specialist, Mansha Chen 氏

世界銀行 Senior Urban Specialist, Gayatri Singh 氏

横浜市 国際局担当理事 橋本徹

## B 会場

13:55 – 14:40	テーマ別セッション 3 : レジリエンス（防災・減災） テクノロジーによるレジリエンスの向上～防災と COVID-19 対策を中心に～
---------------	--

世界中で COVID-19 の感染が拡大していますが、台風や地震などの災害は今も起きています。スマトラ島沖地震や東日本大震災、フィリピン台風などは、人類にとって甚大な被害をもたらしました。結果、仙台防災枠組が策定され、各国がレジリエントなまちづくりに取り組んでいます。そのような中、COVID-19 感染拡大がおき、全世界が同時期に同

じ危機を経験しています。感染症対策なしに防災・減災対策は成り立たず、真のレジリエンスは達成されません。今こそ全世界の英知を結集して、仙台防災枠組のアップデートをするときです。躍進目覚ましい COVID-19 テックを基軸に、次の防災・減災を考えます。

【登壇者】

<モデレーター>

シティネット横浜プロジェクトオフィス 事業課長 平田ケンドラ氏

<パネリスト>

株式会社マクニカ スマートインフラ事業推進室室長 阿部博氏

株式会社 JVC ケンウッド DX ビジネス事業部 海外プロジェクト推進室 横山卓頼氏

スリランカ・コロンボ市 Chief Fire Officer, PDKA Wilson 氏

フィリピン・イロイロ市 (調整中)

バングラデシュ・北ダッカ市 Superintending Engineer, Environment, Climate and Disaster

Management Circle, Tariq Bin Yousuf 氏

台湾・台北市 Sub-division Chief of Disaster Prevention and Planning Division, Taipei City Fire Department, Neo Cheng-Chi Cheng 氏

**A 会場**

<b>14:45 – 16:15</b>	<b>テーマ別セッション4：スマートシティ ASEAN スマートシティ都市構想とその実現に向けて</b>
----------------------	--

ウィズコロナ社会において関心が高まっているスマートシティ。ASEAN ではグリーンフィールド案件を中心に、様々な計画が進行しています。今回、タイ、ベトナム等でスマートシティ開発を進める海外デベロッパーの方々をお招きし、都市の目指すビジョン実現に向けた取組を紹介いただくとともに、日本、そして横浜からの提言として、質の高いインフラ整備と暮らしやすい賑わいあるまちづくりの実現について議論し、アジア・世界に発信します。

【登壇者】

<モデレーター>

横浜市 国際局担当理事 橋本徹

<発表者>

AMATA コーポレーション PCL Chief Investment Officer, Lena Ng 氏

Amata City Bien Hoa Joint Stock Company, Head of Marketing and Sales in Vietnam, 須藤治氏

一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) 顧問 山口泰広氏

JFE エンジニアリング株式会社 海外管理部部長 拠点開発営業支援グループマネージャー 兼

環境本部海外事業部営業部部長 高橋元氏

<パネリスト>

国土交通省総合政策局国際政策課総括国際交渉官 石井翔氏

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan) 理事 南雲岳彦氏



AMATA コーポレーション PCL Chief Investment Officer, Lena Ng 氏  
一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) 顧問 山口泰広氏  
JFE エンジニアリング株式会社 海外管理部部長 拠点開発営業支援グループマネージャー 兼  
環境本部海外事業部営業部部長 高橋元氏

## B 会場

<b>14:45 – 15:30</b>	<b>テーマ別セッション5：汚水・排水処理 適切かつ効率的な排水処理の取組</b>
----------------------	---

適正な汚水・排水処理が、都市の公衆衛生にとって重要な役割を果たしていることが再確認されています。しかし、アジアの多くの都市では、管路敷設や揚水設備を伴う集約型下水道は大きな施設整備費を要するため、現地の財政状況にあった手法、または、段階的な整備手法としての分散型の汚水・排水処理の導入検討が求められています。また、下水処理施設の運営には大きな電力量を伴うほか、汚泥からの温室効果ガスの排出量は大きく、カーボンニュートラルを目指す都市にとって、温室効果ガスの排出削減技術の導入が社会的要請になっています。本セッションでは適正かつ効率的な汚水・排水処理に関する課題と解決策について議論します。

### 【登壇者】

<モデレーター>

アジア開発銀行 Director, Urban Development and Water Division (SAUW), South Asia Department  
齋藤法雄氏

<海外プレゼンター>

ラジャスタン都市上下水道インフラ株式会社, Deputy Project Director (Technical) in Rajasthan Urban Infrastructure Development Project (RUIDP), Praveen Ankodia 氏

メトロセブ水道区 Senior Corporate Planning Specialist, Emmanuel C. Espina 氏

ベトナム天然資源環境省研究所 (ISPONRE) Director of Center for Consultancy, Training and Services on Natural Resources and Environment. Institute for Strategy, Policy on Natural Resources and Environment, Nguyen Tung Lam 氏

<リアクター>

Y-PORT センター専門家 菊原淳也氏

## B 会場

<b>15:35 – 16:20</b>	<b>気候変動対策セッション：Platform for Redesign 2020</b>
----------------------	---

気候変動と新型コロナウイルスという二つの地球規模課題の解決に向けて、あらゆる主体が連携し、取組を進めていくことが不可欠です。日本政府は、気候変動・環境対策に関する具体的な行動や知見を共有することと、コロナ禍においても、気候変動対策が後退しないよう、世界の機運を高めていくことを目的としてオンライン・プラットフォーム「Platform for Redesign 2020」を立ち上げました。併せて閣僚級オンライン会合の開催等を通じて、世界の各分野のリーダーとの対話を行い、持続可能でレジリエントな社会へのリデザインが必要であることと、「脱炭素社会」、「循環

経済]、「分散型社会」の3つの移行を基軸とすることが共有されました。

本セッションにおいては、こうした枠組みにおいて進められてきた議論をベースとしつつ、特に「都市」という切り口にフォーカスし、ポストコロナにおける、持続可能でレジリエントな都市の再構築に向けた実践的な議論を行い、各都市における今後の具体的アクションの策定に向けた知見の共有を行うことを目的としています。

【登壇者】

<モデレーター>

イクレイ日本 事務局長 内田東吾氏

<発表者>

環境省 国際協力・環境インフラ戦略室長 杉本留三氏

独立行政法人国際協力機構（JICA）地球環境部 次長 宮崎明博氏

横浜市 温暖化対策統括本部 副本部長 奥野修平

フィンランド共和国トゥルク市 Risto Veivo 氏

16:20 – 16:50	休憩
---------------	----

**A 会場**

16:50 – 17:50	クロージングセッション
---------------	-------------

本クロージング・パネルでは、第9回 ASCC のテーマである「カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ～コロナ時代の展望～」の議論の成果をまとめていきます。

【登壇者】

バルセロナ市 副市長（Agenda 2030, Digital Transition, Sports, Territorial and Metropolitan Coordination and International Relations）Laia Bonet Rull 氏

国土交通省 大臣官房海外プロジェクト審議官 石原康弘氏

G20 グローバル・スマートシティ・アライアンス Lead Rushi Rama 氏

アジア開発銀行研究所副所長 Chul Ju Kim 氏

横浜市立大学国際総合科学部 4年生 チェ・ミンヒョク氏

横浜市国際局担当理事 橋本徹 【横浜宣言】

## ビジネスマッチングに関して

持続可能な都市づくりに向け、アジアを中心とする新興国諸都市・企業や国際機関と横浜関連企業のオンラインでのビジネスマッチングをイベント期間中開催します。

オンラインビデオチャット機能やダイレクトメッセージ機能がお使いいただけますので、ぜひご参加ください。

## 全体スケジュール

<b>第9回アジア・スマートシティ会議メインイベント（令和3年1月18日(月)）</b> <b>『カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ～コロナ時代の展望～』</b>				
時間	A会場 (通訳あり)	B会場 (通訳あり)	ビジネスマッチング (通訳なし)	企業ピッチ (通訳なし)
10:00 - 10:05	イントロダクション		イベント中は常時開催	
10:05 - 10:50	横浜ユースイベント			
10:55 - 11:40	[テーマ別セッション]エネルギー			
11:40 - 12:40	休憩			
12:40 - 13:00	主催者挨拶・キーンोटスピーチ			
13:05 - 13:50	ADB・ADB Iセッション	[テーマ別セッション]廃棄物管理		
13:55 - 14:40	世界銀行セッション	[テーマ別セッション]レジリエンス(防災・減災)		
14:45 - 16:15	[テーマ別セッション]スマートシティ	14:45 - 15:30 [テーマ別セッション]排水処理		
		15:35 - 16:20 気候変動対策セッション		
16:20 - 16:50	休憩			
16:50 - 17:50	クロージングセッション			

**【お問い合わせ先】**

**横浜市国際局国際協力課 アジア・スマートシティ会議担当**

**ki-asca@city.yokohama.jp TEL 045-671-4703**



第 9 回アジア・スマートシティ会議のウェブサイトはこちらから

---

第 8 回アジア・スマートシティ会議報告書

【動画】<https://youtu.be/RTLU1Dc2OZs>

【報告書】

[https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kokusaikoryu/yport/smartcity/ascc.files/0006\\_20200325.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kokusaikoryu/yport/smartcity/ascc.files/0006_20200325.pdf)



【動画】



【報告書】

詳細については

横浜 ASCC

